

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
2024年度第10回(12月)理事会議事録

- ◇日時： 2024年12月12日(木) 18時30分～19時30分
 ◇会場： Web会議併用(公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所)
 ◇出席者： (事務所参加) 増田、梶、上田、安保、佐藤、山田、上地、山西、岡本、赤木、是永、豊田、藪、喜舎場、堀田、平川、安江、小宮山、井戸田監事、杉山監事、竹浦参与、高田参与
 ◇議長： 増田

【 討議内容 】

I. 行動報告(11月分)

日	行動内容	役員名
2	精度管理部 大臨技 実務統計講座	山西
2	令和6年度日臨技近畿支部医学検査学会(第63回)前日準備	山田、喜舎場、平川、上田、堀田
3	令和6年度日臨技近畿支部医学検査学会(第63回)	増田、梶、安保、上田、山田、上地、佐藤、豊田、岡本、喜舎場、山西、赤木、堀田、是永、藪、平川、安江、小宮山、井戸田、杉山、竹浦、高田
4	令和6年度日臨技近畿支部医学検査学会(第63回)	増田、梶、安保、上田、山田、上地、佐藤、豊田、岡本、喜舎場、山西、赤木、堀田、是永、藪、平川、安江、小宮山、井戸田、杉山、竹浦、高田
5	日臨技執行理事会議	(Web)竹浦
6	大阪府衛生検査所精度管理立入検査	上地
7	精度管理部会	山西、安江、杉山
7	日臨技予算委員会	(Web)竹浦
7	豊中市衛生検査所精度管理立入検査	杉山
7	大阪府治験環境整備懇話会	増田、山田
8	日臨技システム委員会	(Web)竹浦

10	全国「検査と健康展」岐阜	竹浦
11	日技連執行会議	(Web) 竹浦
13	中央地区会議	藪
14	理事会	増田、梶、安保、上田、山田、上地、佐藤、豊田、岡本、喜舎場、山西、赤木、堀田、是永、藪、平川、安江、小宮山、井戸田、杉山、竹浦、高田
15	組織部会	藪、是永、小宮山
15	日臨技支部長会議	竹浦、高田
16	検査説明・相談ができる検査技師育成講習会	増田、岡本、藪、堀田
16	精度管理部 大臨技 実務統計講座	増田、山西
16	日臨技理事会	竹浦、高田
18	手話講習会	赤木
18	日臨技「日臨技/日放技」定期連絡懇話会	竹浦
18	第43回日本衛生検査所協会近畿支部集会	増田、高田
19	渉外部会	喜舎場、赤木、安江
19	豊中市衛生検査所精度管理立入検査	山西、杉山
20	総務庶務・広報編集・会計部会	梶、上田、上地、山田、豊田、赤木、藪、堀田、是永、安江、平川
20	大阪市衛生検査所精度管理立入検査	佐藤、高田
20	東大阪市衛生検査所精度管理立入検査	豊田
21	大阪府衛生検査所精度管理立入検査	増田、堀田
22	東大阪市衛生検査所精度管理立入検査	上田
23	令和6年度 全国「検査と健康展」前日準備	喜舎場、赤木

24	令和6年度 全国「検査と健康展」	増田、安保、喜舎場、岡本、赤木、安江、平川、山田
27	常務理事会	増田、梶、安保、上田、山田、上地、佐藤
27	大阪府衛生検査所精度管理立入検査	堀田
28	吹田市衛生検査所精度管理立入検査	梶
30	精度管理部 大臨技 実務統計講座	山西、是永

II. 経過報告

1. 事務局

〈総務庶務部〉（報告者：上地常務理事）11月20日（水）Web 会議併用にて開催した。

- （1）組織部 ML エラーについて報告を行った。
- （2）2025 年新年互礼会（祝辞依頼状・乾杯依頼状・部門報告会）について検討した。

〈広報編集部〉（報告者：山田常務理事）11月20日（水）Web 会議併用にて開催した。

- （1）大臨技ニュース 11 月号 Web 版を発行した。
- （2）大臨技ニュース 12 月号（第 431 号）の編集作業を行った。
- （3）ホームページの更新を随時行った。

2. 財務局

〈会計部〉（報告者：上田副会長）11月20日（水）Web 会議併用にて開催した。

- （1）予算案作成状況について報告した。
- （2）事務員の 11 月給与を支給した。

3. 事業局

〈渉外部〉（報告者：安保副会長）11月19日（火）Web 会議併用にて開催した。

- （1）全国検査と健康展の進捗状況の確認を行なった。
- （2）第 19 回府民健康フォーラムの進捗状況を確認した。
- （3）令和 6 年度大臨技・大放技合同フォーラムの進捗状況を確認した。
- （4）理事会報告を行った。
- （5）意見交換会費の適応について周知するよう報告した。
- （6）11/18 手話講習会を開催した。
- （7）11/24 全国「検査と健康展」を開催した。

〈組織部〉（報告者：安保副会長）11月15日（金）Web 会議併用にて開催した。

- （1）せつつ市民健康まつり開催報告および羽曳野市ふれあい健康まつり視察報告を行った。
- （2）2024 年度会員交流会について検討した。
- （3）2024 年度施設連絡者会について確認した。

- (4) 2024 年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会について確認した。
- (5) 2025 年度タスク・シフト/シェア講習会について検討した。
- (6) 2025 年度大臨技教育セミナーについて検討した。
- (7) 理事会報告を行った。

〈学術部〉開催なし

〈精度管理部〉(報告者：山西理事) 11 月 7 日 (木)

- (1) 来年度事業と予算案について討議した。

III. 報告事項

1. 職務執行状況報告について (会長・副会長・常務理事)

(1) 増田会長、梶副会長、上田副会長、安保副会長、山田常務理事、上地常務理事、佐藤常務理事より職務執行状況についてそれぞれ報告が行われた。

- (2) 2024 年 11 月における役員行動報告・役員各部報告があった。

2. 2024 年 11 月事業開催状況報告について (梶副会長)

- (1) 上記について資料が示され確認した。

3. 2024 年 10 月月次報告執行管理について (上田副会長)

(1) 学術部 5 部門で 10 万円を超える未執行額があるので部門会議で確認してもらった。

(2) 認知症研修会は事業を開催しないと報告があり、南地区の不足額について予算流用する予定である。

4. メーリングリストについて (梶副会長)

(1) 組織部の ML で多数のメールアドレスが削除された事例があったので様子を見るために配信エラーが生じた場合、事務所に連絡が送信されるように設定した。

- (2) iPhone の設定では特に注意するようにお願いした。

5. 知事表彰推薦について (梶副会長)

- (1) 該当年数を満たす候補者がいないので今回は推薦者なしと報告された。

6. 叙勲推薦について (梶副会長)

- (1) 推薦なしと報告された。

7. 令和 6 年度公衆衛生事業功労者に対する一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰について (梶副会長)

- (1) 山田常務理事を推薦していたが表彰されることが決定した。

8. 事業予算の流用について (上田副会長)

(1) 南地区より予算不足のため認知症研修会から 3 万円の予算流用申請が出ていたが豊田部長の承認が得られたと報告された。

9. 物品借用申請について (梶副会長)

(1) 渉外部より全国「検査と健康展」においてポータブルエコーの借用申請があったと報告された。

10. プリンターの廃棄について（梶副会長）

（1）故障したインクジェットプリンターをブックオフに10円で引き取ってもらったと報告された。

11. 令和6年度日臨技近畿支部医学検査学会（第63回）の決算について（上田副会長）

（1）12月20日頃に日臨技より最終入金があるのでその後、日本旅行へ支払する予定である。

（2）現時点で1,900万円ほど残高であり、日本旅行からの請求額は1,900万円ほどある。詳細を精査し支払する準備を行う。

12. 第74回日本医学検査学会における大臨技企画について（増田会長）

（1）都道府県技師会活動の長所・短所についてパネルディスカッションを行う予定である。

（2）実務委員の依頼は現時点での依頼はない。

13. 日臨技より

（1）地域ニューリーダー育成研修会について日臨技主催で開催するのは今年度で終了である。その後は都道府県に移管しエビデンスの検証も含めワーキンググループを作成して進めてもらう。

（2）2025年度の全国「検査と健康展」の中央会場は神奈川県である。検診的な部分があり高齢者の参加が多いが若年者に多く参加してもらえるような企画にし、将来の臨床検査技師を輩出できるようなものにする。厚労省からの助成もあるので企画を精査して進めていく。

14. その他

（1）Canvaについて（是永理事）

・無料プランの申し込みが承認されたと報告された。使用を希望する人は是永理事に連絡する。

・広報編集部で運用について検討する。

IV. 議 題

1. 2025年新年互礼会について（上地常務理事）

（1）当日進行予定表、次第、担当表が提示され、teketでの参加費の支払いをお願いした。

（2）来賓祝辞依頼については回答を確認してから検討する。

（3）部門報告会をお願いしている代表者には2,000円を支給する。

2. 外部理事、外部監事について（梶副会長）

（1）2025年4月公益法人制度の改正に伴い外部理事と外部監事を設ける必要があり理事・監事の人数を増加するのであれば定款を変更しなければならない。

（2）理事の人数の上限を18名以内から20名以内に変更しうち外部理事を1名以

上、監事2名以内を3名以内に変更しうち1名以上を外部監事とする体制にすることが承認された。

(3) 総会で定款改訂の承認と、理事会にて組織運営規定、役員選出規程の改訂が必要である。

(4) 外部理事、外部監事の報酬については総務部会で検討する。

3. 2025年新規事業について(上田副会長)

(1) 学術部より「臨床検査技師が考える RCPC」事業を行いたいという申し出があった。

(2) 予算に余裕がないので大臨技医学検査学会の企画として行うことで承認された。

4. LINEオープンチャット運用開始について(山田常務理事)

(1) 現在はLINEのトーク無料プランを使用しておりひと月200通までの配信しかできない。配信を強化するためLINEオープンチャットを使用することが検討され承認された。

(2) 管理者権限は100名登録できる。参加コードを設定して検査技師以外の参加は制限する。

(3) 大臨技ニュース1月号でアナウンスし運用開始は2月とする。

(4) テストページを設けるので確認をお願いした。

5. ホームページ掲載依頼について(梶副会長)

(1) 関西医療大学の小椋氏より第23回泌尿器細胞診カンファレンス学術集会 in 神戸についてホームページの掲載依頼があり承認された。

6. 後援依頼について(梶副会長)

(1) 株式会社JTB横浜支店より第35回日本臨床工学会の後援依頼があり承認された。

7. タスク・シフト/シェア講習会について(小宮山理事)

(1) 受講対象は大阪府のみとする。他府県へ赴いて受講することは可能。

(2) 4月・6月・8月開催分は60名募集、10月・12月・2月は120名募集の開催も可能とすることが承認された。

(3) 昨年に引き続き講習会受講者へアンケート調査を行うことが承認された。調査に関してはコスト面を考慮する。

(4) 検査技師を講師として任用することも検討してはどうかと意見があった。

8. その他

(1) teket内の配信について

・teketに次回講習会の予定やアンケート内で希望を問う内容を記載しても良いかと確認された。問題はないと回答された。